

氏一 祐一 山竹 栄子
氏一 祐一 山竹 栄子
氏一 祐一 山竹 栄子



副議長
徳竹 栄子



議長
高山 祐一

議長就任あいさつ

議会議長 高山 祐一

6月1日の臨時会において、第35代の議長に選出されました。議長は、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を統理し議会を代表します。現在町議会は、定数14名のところ、当初13名の当選で出発し、1年にも満たないうちに1名が辞職し12名となりました。18代後期の中では、「なり手不足の解消」や「それを改善するための報酬見直し」など、19代議会のことも視野に入れての検討もしていかなければと考えています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、町の基幹産業である観光業は大変な痛手を被っています。今後も感染対策と経済の復興は喫緊の課題であります。町行政とともに克服していかなければなりません。

また、当議会は全国町村議会議長会より「政策づくりと監視機能を十分発揮している」「住民に開かれた議会」であることで表彰を受けました。今後もこの取り組みを継続していきたいと思えます。

今後とも議会活動にご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。就任のあいさついたします。

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL
議会だより

第125号
令和3年8月25日 (2021)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 高山 祐一
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



もくじ

- 第2回臨時会関連記事……………18
- 第3回定例会関連記事……………21
- 一般質問……………22
- みなさんからの請願・議会全員協議会……………30
- みんなのひろば・編集後記……………31

山ノ内町議会議員等名簿

◎委員長 ○副委員長
(令和3年6月1日現在)

委員会名	所管	委員
常任委員会	総務産業	◎湯本 晴彦 ○山本 岩雄 高山 祐一 高田 佳久 渡辺 正男 西 宗亮
	社会文教	◎望月 貞明 ○白鳥 金次 徳竹 栄子 小林 克彦 布施谷裕泉 山本 光俊
	広報	◎渡辺 正男 ○山本 光俊 高田 佳久 西 宗亮 白鳥 金次 山本 岩雄
議会運営委員会	議会運営・議会会議規則等・議長諮問に関する事項	◎布施谷裕泉 ○高田 佳久 湯本 晴彦 望月 貞明 渡辺 正男 小林 克彦
議会選出監査委員	西 宗亮	
北信広域連合議会議員	高山 祐一 徳竹 栄子	望月 貞明
北信保健衛生施設組合議会議員	高山 祐一 徳竹 栄子	望月 貞明
岳南広域消防組合議会議員	高山 祐一 徳竹 栄子	湯本 晴彦

第18代議会後期の議会構成決まる

申し合わせ

任期満了

6月1日、令和3年第2回臨時会が1日間の日程で開催され、申し合わせ任期満了にともなう正副議長選挙が行われ、常任委員会などの後期議会構成を決定しました。

この臨時会に先立ち、5月25日に行われた議会全員協議会では議長に高山祐一氏が、副議長には徳竹栄子氏がそれぞれ立候補届の提出並びに立候補表明演説を行いました。



会人は会議規則により出席議員から3名を議長または副議長の指名により選出)
※投票は立候補者以外の議員も対象となります。

選挙結果

※当日1名欠席

議長選挙開票結果

高山 祐一 7票
無効投票 4票

副議長選挙開票結果

徳竹 栄子 7票
無効投票 4票

選挙方法

- ・出席議員全員による投票
- ・議席番号順に投票
- ・投票は単記無記名(1名の名前を記入し、投票者の名前は書かない)
- ・開票立会人による開票(立

選挙後、各常任委員の選任を行った後、各常任委員会を
開会し、委員の互選により各
正副委員長を選出しました。

また、議会選出の監査委員
広域連合議会議員、一部事務
組合議会議員などの選任をし
後期議会構成が確定しました。

議席を一部変更

議会構成が決まり議席が一部変更となりました。町議会では、議席番号1番から当選期数別で各々くじにより決定します。

また、議長を最終番、副議長を最終2番とし、さらに正副議長経験者がある場合は最終3番以前とし、議長・副議長就任順としています。

新議会事務局局長に 小林元広氏



昨年度までお勤めいただいておりました藤澤光男さんが3月31日をもって定年退職されました。後任に前建設水道課長の小林元広事務局長が4月1日より就任されました。田村英則議事係長と2名体制で議会のサポートをしていただきます。

令和2年度一般会計予算の最終補正 歳入歳出を1億2795万円減額 コロナ禍で事業を中止 財政調整基金へ1億4826万円積立

令和3年第2回議会臨時会が、6月1日に開催されました。専決処分を含む報告4件、専決処分の承認8件、請負契約の締結1件が提案され、いずれも原案のとおり受理・承認・可決しました。

専決処分

報告

- (1) 2年度一般会計予算の繰越
国立公園整備事業 359万円
- (2) 自動車損壊事故の和解および損害賠償
過失割合 50%(町)

賠償金 34万714円
移住体験住宅(須賀川んち)の屋根に雪止めがなく落雪、事故後に設置されました。

- (3) 私債権の放棄

① 有線放送電話料金
債務者1名(平成30年度6期分)
債権額 1万1280円
有線放送電話事業の債権は、全て終了となりました。

② 水道料金
債務者14名(平成22〜令和元年度213期分)
債権額 797万円

承認

各会計の補正予算は、2年度の事業確定によるものが、主となります。

- (1) 一般会計補正予算(第10号)
歳入歳出 ▲9095万円
総額 86億7775万円
ふるさと納税は過去最高額の3億826万円(前年度比23.7%増)



券額 100,000円〜
商品番号 5658-0286
山ノ内町町内宿泊補助券(6枚)
●山ノ内町観光連盟
●5,000円券×6枚
ふるさと納税のパンフレット

- (2) 一般会計補正予算(第11号)
歳入歳出 ▲3700万円
総額 86億4075万円
繰越明許費を繰越金に計上したことによる修正です。
- (3) 有線放送電話事業特別会計補正予算(第3号)

- 歳入歳出 ▲264万円
総額 5924万円
- (4) 国民健康保険特別会計補正予算(第6号)
歳入歳出 ▲8851万円
総額 15億2437万円

- (5) 後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出 ▲77万円
総額 1億8312万円

- (6) 水道事業会計補正予算(第5号)
収入(営業収益) ▲357万円
総額 4億458万円

- 支出(営業費用) ▲162万円
総額 3億2796万円

- (7) 介護保険特別会計補正予算(第6号)
歳入歳出 ▲3787万円
総額 17億8273万円

反対討論

渡辺 正男

歳出の居宅介護サービス給付費がちょうど2000万円、地域密着型介護サービス給付費もちょうど1000万円の減なのに、歳入の支払基金交付金、県支出金の減額はナシというのは、とても精査を尽くした補正予算とは思えない。基金取り崩し4000万円の減で、2億1900万円の基金残高は減るところが積み立てで逆に増える。保険料が高すぎるということ。基金が一向に減らないのも道理だ。

2億9150万円(税込)で落札 (仮)すがかわふれあいセンター増築・改修工事

工事請負契約の締結

平成29年度に西・北小学校が統合したことで、旧北小学校は空き校舎となりました。町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の利活用を検討し、北部地域での協議を重ねた結果、地域の拠点として「(仮)すがかわふれあいセンター」の設置が決まりました。なお、令和元年度には、使用しない施設(普通・特別棟、給食室)の解体撤去工事に1億498万円、昨年度は地質・土質調査増築・改修実施設計などに2583万円を充当しています。

指名競争入札 J V 3社を指名
入札日 3年4月30日
契約金額 2億9150万円
(税込)

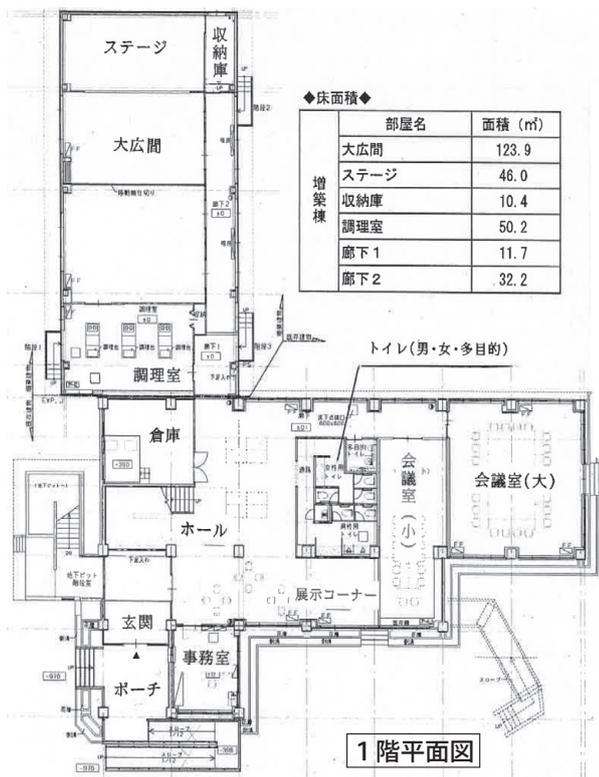
落札率 99.62%

契約の相手方 中野・下田・山岸

特定建設工事共同企業体(J V)

代表者 中野土建株式会社

構成員 株式会社下田土建
株式会社山岸木材株式会社



3年度一般会計 総額1億6864万円の補正予算

感染症対応地方創生臨時交付金 1億 2226万円 各支援事業に活用



希望者全員に、早期の接種完了を

令和3年第3回定例会は、6月10日から24日までの15日間にわたって開催されました。町側から3年度総合開発公社事業計画及び予算の報告、専決処分等の報告1件、3年度一般会計補正予算（第1号）、国民健康保険特別会計補正予算（第1号）、条例の一部改正1件、塵芥車購入売買契約の締結1件、人事案件1件が提案され、いずれも原案のとおり受理、承認、可決、同意しました。また、陳情1件については、継続審査となりました。

3年度一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルスワクチン接種事業に 5313万円

歳入歳出それぞれ1億6864万円を追加し、予算総額を76億2566万円とするものです。歳出の補正予算には新型コロナウイルス感染症に対応する各支援事業が計上されています。

〈歳入の主なもの〉

- 地方特例交付金 ▲3億6000万円
- 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 3億6000万円
- 国庫負担金 1115万円
- 国庫補助金 1億2226万円
- 低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金事業補助金 890万円

〈歳出の主なもの〉

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金 4179万円
- 雑収入（コミュニティ助成） 370万円
- 県委託金（衆議院選挙） 315万円
- 安心・安全な観光地づくり（コロナ関連）交付金 4300万円
- 感染症対策支援交付金 2000万円
- スキー場誘客交付金 600万円
- 低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金事業 770万円
- 学校施設消毒（コロナ関連） 278万円
- 修学旅行感染対策バス増車 73万円
- 保育園施設修繕 161万円
- 抗菌置入れ替え

備蓄用災害生活用品購入 150万円

文化センターWiFi整備 130万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止基金元金積立 400万円

庁舎内発電機更新 345万円

コミュニティ助成事業 270万円

選挙用備品 286万円

町単林道整備 428万円

道路維持修繕 230万円

ドッグラン広場整備 200万円

条例の一部改正

固定資産評価審査委員会条例の一部改正

行政不服審査法施行令の一部改正により審査請求人の押印が不要とされたことに準じ、町の固定資産評価審査委員会への審査申出人等の押印を不要とするため改正するものです。

売買契約の締結

- 4t級塵芥車 1台
- 契約金額 853万円
- 契約の相手方 (有山ノ内自動車工業)
- 落札率 85・5%

人事案件

任期満了にともなう教育長の再任を全会一致で同意しました。

教育長 柴草 隆（59歳・角間）



任期は令和3年7月1日から56年6月30日まで

常任委員会

管内視察延期

例年6月に実施している管内視察は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期しました。

ズバリここが知りたい

論戦

新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種、観光・農業振興、災害対策 など

6月14日、15日の2日間にわたり行われ、登壇議員は7人、傍聴者は延べ18人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

※感染症拡大防止のため、議員・答弁者・傍聴人全員がマスクの着用・手洗い等を行い、議場内は演壇と質問席に仕切り板を設置し、開催しました。休憩時には換気を行い、傍聴人数も15人までとさせていただきます。ご理解ご協力いただきありがとうございました。

①	 湯本 晴彦	<ul style="list-style-type: none"> ・観光政策について ・空き家対策について ・副町長の役割について
②	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・イベントの開催について ・消防団再編について
③	 望月 貞明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について ・国土強靱化について ・国連で採択されたSDGsの取り組みについて ・農林業センサス結果について
④	 布施谷裕泉	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症に関わる諸課題への対応について ・災害発生に対する危機管理体制強化に向けて ・森林環境譲与税の積極的な活用を
⑤	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な農業の振興・発展を目指して ・防災情報網の再構築に向けて ・コロナ禍で苦しむ町民の暮らしをどう守るか
⑥	 山本 岩雄	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種について ・小学校統合について ・佐野遺跡整備について ・文化財の防災対策について ・ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）への対応について
⑦	 小林 克彦	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症について ・新型コロナウイルス感染症収束後について ・危機管理課設置について ・耕作放棄地対策について

大型の危険空きホテルは大問題になるのでは

建設水道課長—危険防止の応急措置ができるよう進める

コロナ禍の観光政策

質問 軽井沢では、旅館組合で集団接種を検討、白馬ではPCR検査の費用を補助する。山ノ内はいかがが観光商工課長 まだ、深く検討した段階ではない。

質問 2回のワクチン接種をした人から旅行を促す政策は。

観光商工課長 GOTOトラベルの再開が何よりの政策だと思う。

質問 コロナだからこそアウトドア、キャンプ、グランピングや県内客の利用と、これを促進したらどうか。
観光商工課長 財源がやはり限られている。県で県民を対象にした県民割りの宿泊誘客などを有効にPRしていきたい。



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦

※グランピング：優雅なという意味のグラマラスとキャンプを合わせた造語。大自然やアウトドアを贅沢に楽しむ新しいリゾート滞在スタイル。



県民割が始動したが、果たしてその効果は

アフターコロナの観光政策

質問 アフターコロナはいつ頃来ると思うか。

観光商工課長 ワクチン接種による集団免疫がある程度できればと考えている。
質問 アフターコロナになって需要が出てくることと

第5波で自粛ムードになることと、2つに備える必要があると思うが。
観光商工課長 おっしゃるとおり。

質問 長期的には、この町の観光として魅力づくりをしていかなければいけない。今あるものを生かすという意味で、域内の消費を増や

すということはどうか。
観光商工課長 もう1泊、できればもう2泊という形で、長く滞在していただいで、お金を落としていただきたいと計画を上げた。

空き家対策はいつから

建設水道課長 計画を策定したのは31年の3月だが、28年度中から動き始めた。

質問 時間がかかり過ぎていないか。
建設水道課長 時間はかかっているが、認識はしているが、慎重な対応が必要な案件なども多々ある。

質問 空き家で一番危険だと思っのが、大型の空きホテルとか旅館。既に看板などが落ちてきて、多額の被害が出ている。また猿の棲

み家になっているなど大問題になっている。町が主導でやっていく必要があるのでは。
建設水道課長 関係条例の整備を至急始め、危険防止の応急措置が取れるようになっていきたい。

副町長の役割

質問 意気込みは。

副町長 山ノ内町に生まれ住んで、愛着がある。これだけの自然環境があつて、歴史があつて、オリンピックも開催してきた世界一級の観光地。農業ではローカルプライドが、地域をよくする大きな力。そういったものを持ち得る地域。積極的に外とのアクセスを持っていきたい。

経済政策の要は
魅力づくりと
人づくり

湯本晴彦のつぶやき

感染症対応地方創生臨時交付金活用事業は

町長—効果的な事業となるよう取り組んでいく



しろとり きんじ
白鳥 金次

※収入保険：農産物の品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補てんする保険で、保険料は掛捨てになる。保険料率は、補償限度80%の場合、保険金額の概ね1.08%（50%の国庫補助後）で、保険金の受取がない方は、保険料率が下がる。積立金には、75%の国庫補助があり、補てんに使われない限り、翌年に持ち越される。収入保険に加入するには、まず確定申告の際に「青色申告」をしている必要がある。

いよいよパラリンピックが開幕。オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界の3大スポーツイベント!!

白鳥金次のつぶやき

質問 おみせ応援プラチナ子ケツト事業の状況は。

観光商工課長 新型コロナウイルスから、売上げが減少している町内の飲食、小売、サービス業等を行う事業者に対し、事業継続のための支援として、4月19日から交付申請を受け付けている。6月11日現在、66件の申請を受け付け、支援金を交付している。今後、12月28日までの受付期間となっているので、さらに事業を進めるなかで、町内事業者の経営維持に向けての取り組みを強化していく。

質問 修学旅行支援事業の

状況は。
教育長 昨年度については中学校の奈良・京都への修学旅行が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、発生したキャンセル料を全額町で支援をした。また、西小学校の修学旅行についても、新型コロナウイルス感染症対策として、バスを増便した費用について全額町で支援をした。今年度についても、各学校とも修学旅行を実施することで準備を進めているので、感染症対策によるバス増便の負担分を支援するための費用を、本議会の補正予算に計上をした。

ワクチン接種の状況は

町長 ワクチンの入荷状況もあり、県の一般的な方針に沿って、中高医師会の協力を得、最優先で高齢者施設の入所者への接種を5月7日から開始し、役場内のワクチンチームを組織して、全庁体制で接種業務に取り組んでいる。また、新たに県から医師、看護師の紹介協力により、65歳以上の高齢者のうち7月末までには約90%、これは申込者全員が終了できるように、順調に接種業務を行っている。

低温・凍霜被害への対策は

農林課長 4月上旬から5

月上旬かけて氷点下を下回る冷気が入り込み、リンゴ、サクランボ、プラムに凍霜害が発生し、町内の果樹被害は約4860万円と推計されている。

霜注意報が発令された場



被害状況調査（上条地籍ナシ園地・5月18日）

合は、防災無線による屋外放送を実施し、燃焼資材を活用した対策で、未然に防ぎ止めていただくよう周知してきているが、被害を受けた後の栽培指導についてはJAからの「特報」などを参考にしていただきたい。また、被害発生後の支援としては、共済加入者については共済対応があるが、未加入者には県と共に今後の生育状況を観察しながら、取れる対応を探っていく。

収入保険加入促進に向けては

町長 今年度収入保険掛金補助として270万円を予算化し、収入保険の加入促進に取り組んでいく。

ため池を豪雨時の調整池に活用は

農林課長—検討していない

職種による優先接種は

【質問】 59歳以下の新型コロナワクチン接種で救急救命士など感染リスクが高い職種を優先する考えは。

健康福祉課長 県から優先接種する職種が示されており、方法は今後、検討する。

【質問】 デルタ株^{※1}は従来の2倍程の感染力があり、流入すると感染が急拡大する懸念がある。予防策は。

健康福祉課長 ワクチン接種率の向上とマスク、手洗いなどの新生活様式の継続。

次亜塩素酸水の活用は

【質問】 ウイルスの消毒はアルコールが主体だが、用途により、次亜塩素酸水が効果的である。これの活用は。

健康福祉課長 保育園では床の殺菌に効果的な塩素系



寒沢のため池

漂白剤を希釈して使用。

【質問】 次亜塩素酸水は食塩水の電気分解で安価に製造できる。製造器導入は。

健康福祉課長 予定はない。

住宅密集地はどこか

【質問】 国土強靱化計画で指摘する住宅密集地はどの程度か。また、何か所か。

危機管理課長 住宅密集地の数値的基準はなく、火災

発生時に延焼危険がある地域。平成28年12月の糸魚川

大火災の後、総務省通達により洪、横湯などを指定。

【質問】 密集指定地域の地図表記や住民への周知は。

消防課長 地図表示、住民周知は行っていないが、指定

地域の警防計画は作成した。

【質問】 延焼防止策に危険空き家の除却とあるが空き家

対策との関係は。

建設水道課長 空き家対策協議会などで検討し進める。

流域治水にため池活用は

【質問】 当町のような傾斜地で流域治水を行うには、どのような施設が必要か。

建設水道課長 雨水貯留槽や浸水性舗装が考えられる。気象条件、費用対効果の検討が必要。

【質問】 ハツ場ダムが利根川治水に効力を発揮したとされる。傾斜地域では、ダム

で豪雨を調整する方法が最適と思われるが、ダムの代わりため池の活用はどうか。

農林課長 ため池のそのような活用は検討していない。一番大きなため池の琵琶池、大沼池が決壊した場合のハ

ザードマップは作成中。

※2 SDGsの取り組みは

【質問】 本年1月、南小児童による海洋プラスチックごみ削減の研究発表を見学、学校ではSDGsの学習、理解が進んでいるように感じられた。社会人への教育は

【教育長】 気候変動、貧困の拡大などの諸課題を自分のこととして主体的に考え行動していくことが重要。

※3 農林業センサス結果は

【質問】 農業人口、65歳以上の割合、耕地面積の比較は。

総務課長 基幹的農業人口は997人で前より207人減、65歳以上は580人で65人減。比率は58.2%で4.6%上昇。耕地面積は600haで10ha減少した。



もちづき さだあき
望月 貞明

※1 デルタ株：コロナウイルスの変異株を確認順にギリシャ文字で表記したものの。インド株のこと。

※2 SDGs（持続可能な開発目標）：2015年に国連が採択し2030年までに「誰一人も取り残さない」社会の実現を目指し掲げた17の目標と169の達成基準。

※3 農林業センサス：5年ごとに行われる農林業の全国一斉統計調査。直近は2020年に実施。

新型コロナウイルスが収束する集団免疫獲得にはワクチン接種率が80%以上必要とされ、今後の行事開催は接種率がカギとなる。

望月貞明のつぶやき

危機管理体制強化に向けて具体策は



ふせやひろみ
布施谷 裕泉

※1 法改正：令和3年5月施行の「改正災害対策基本法」で、これまで併記されていた「避難勧告」と「避難指示」が避難指示に一本化された。

※2 線状降水帯：同じ場所で積乱雲が次々と発生して带状に連なる現象。豪雨災害に結び付く可能性が高いとされている。

避難指示：空振りには先ず感謝。慣れと受け流しだけでは要注意！自戒を込めて。

布施谷裕泉のつぶやき

町長—新たに危機管理課を設置

※1
法改正にともなう
避難行動は

【質問】 2年前の19号台風では町として初めて全町避難指示が出されたが、結果的に避難は一部にとどまった。法改正をふまえ避難行動をいかに促すが大きな課題。認識と対応は。

【危機管理課長】 災害時にいきなり指示を出しても避難に結び付くのは難しい。平常時から避難所開設等の情報を基に認識を深めることが必要。

【質問】 避難先にはこれまでの指定避難所等の他、新たに分散避難も手段の一つに

加えられた。避難先が複数になることで、確認不足による被害の拡大が心配される。認識と対応は。

【危機管理課長】 平常時から情報共有がより必要になる。特に避難行動に支援が必要な人については、状況把握を含め避難計画の策定を積極的に進めたい。また有事に町が開設する避難所は、東・南・西・北各1か所と福祉避難所の計らか所を現時点では想定している。

【質問】 要支援者の避難については、自主防災だけでは判断が難しい場面も想定される。福祉面からの行動を含め役割分担を具体的に示

す必要があるのでは。

【危機管理課長】 避難行動要支援者に関する個別避難計画は地元任せつきりではなく、福祉関係者を交えて地元と共に計画を立ててい

【質問】 気象庁から発表される線状降水帯の発生情報は、町の避難情報とどの様に連動するのか。

【危機管理課長】 発生情報に

【質問】 気象庁から発表される線状降水帯の発生情報は、町の避難情報とどの様に連動するのか。

【危機管理課長】 発生情報に



各地で発生する豪雨災害
自治体の避難指示ためらう報道も

加え雨量など分析の上、町としての各種発令に結びつける。

ワクチン 接種の状況は

【質問】 変異ウイルスで若年層の感染・重症化が懸念されるなか、保育施設や学校での集団感染も報じられている。他の質問では職種の優先接種を検討したいとの答弁があった。その時期は。

【健康福祉課長】 60歳から64歳および基礎疾患を有する方などの接種は8月いっぱいを目途に。推移を見ながら8月の前半までには結論を

出したい。

森林環境譲与税 の活用は

【質問】 活用の一環として鳥獣害防止を目的に、電柵設置に合わせた周辺整備は可能か。

【農林課長】 環境譲与税の用途は森林整備に資する事業としてのことから緩衝帯を前提にしての整備は難しい。しかし里山整備に含め森林と里山の境を区分していくための整備と位置づけ作成中の実施方針に含められるか検討したい。

町独自の農業振興計画策定を

農林課長—農業経営基盤強化の基本構想がある

町農業の現状は

【質問】 農家・農業従事者数、耕作面積、農業生産額それぞれ推移は。

農林課長 農林業センサスによると農家数については、2015年925戸から、20年は82戸減少し、845戸。農業従事者数は、1204人から、207人減少で997人となっている。経営耕地面積では、610haから10ha減少し、600haとなっている。農業産出額は、農水省統計の14年度と18年度比較で、34億5000万円から7億8000万円増加し、42億3000万円となっている。

農業振興にどう取り組んでいるか

町長 第6次総合計画では



多面的機能支払い交付金事業で農道舗装

「ひとがつながる産業の郷土（まち）づくり」として、農産物の高付加価値化、経営体制の充実、生産基盤整備の推進に取り組んでいる。
【質問】 各種補助制度・支援策の目的とその効果は。
農林課長 ブランド農業生産振興対策事業では、先端的で意欲ある農業生産の振

興をはかるため、農業者団体が行う事業に補助金を交付し、主に優良品種早期産地化事業によりブランド品種の生産量増大、食の安心・安心づくり体制確立事業による病害虫対策、地域ブランド生産販売推進事業による農産物のイメージアップなどに寄与している。

町独自の農業振興計画は

農林課長 県策定の「第3期食と農業農村振興計画」にも準拠した内容で、農業経営基盤強化の促進に関する基本方針がある。それに準じた「町農業経営基盤強化の推進に関する基本的な構想」には、ほとんどの内容は網羅できていると思うので、新たな計画策

定は考えていない。
【質問】 その構想は、どこで見られるのか。

農林課長 最新のものは、令和2年4月改正。ホームページ上では分からないが、農林課には備えつけてある。
【質問】 農業は市町村ごとに特色がある。町ならではの将来像を描いた上で、農業関係の皆さんや観光の皆さんの意見も聞いて、実態をしっかりと把握し、観光と農業の連携など町独自の課題を整理して、施策目標、数値目標、詳細施策を明記した、今後の指針となるような計画が必要ではないか。

農林課長 皆さんの意見を聞いて数値を設定するというのは非常に有効だと思う。



わたなべ まさお
渡辺 正男

※第3期長野県食と農業農村振興計画：長野県の食と農業・農村の将来のめざす姿を明確にし、その実現に向けて、全ての関係者が一体となって施策を総合的かつ計画的に推進するため、2018年度（平成30年度）から2022年度の5か年の計画として策定されたもの。

スポーツウォッシング
都合が悪いことをスポーツの喧騒で洗い流すこと。選手の健闘は素晴らしかったが…。

渡辺正男のつぶやき

統合小学校のスケジュールは

教育長—令和8年4月開校を目途に進める



やまもと いわお
山本 岩雄

※ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)：長島彬さん(CHO 技術研究所代表)が提唱。強すぎる太陽光では光合成は増加しないという「光飽和点」に着目、農地に太陽光パネルを設置して農作物と電力の両方を得るといったもの。農林水産省は営農型発電設備、営農型太陽光発電としている。

新型コロナウイルス ワクチン接種は

質問 キャンセルに対する対応は。

健康福祉課長 キャンセル待ち登録者297名、うち接種完了は累計90名。(いずれも、6月6日付け)

小学校統合は

質問 第2回総合教育会議で示された教育方針・統合のスケジュールとは。

教育長 基本的な考えは1クラス20〜30人、1学年あたり2学級以上として、実現のために1校に統合するというもの。令和8年度4

月を目途に地区懇談会や保護者懇談会で基本方針を説明、令和4年度から総合教育会議で修正案を協議、決定。議会への説明後、(仮)

統合準備委員会を設置して整備計画を策定し、統合小学校の課題検討・実施設計・工事等を予定。

質問 中学校の敷地内案の再浮上の理由は。

教育長 出生数が減少しているということ、中学校の長寿命化工事の際のプレハブ教室の設置状況から可能性が浮上。

質問 東小を候補とする理由は。

教育長 西小と南小は1学

年2クラス規模東小は4クラス規模で建設されている。

佐野遺跡整備は

質問 整備の計画の概要とタイムテーブルは。

教育長 本年度は文化財整理推進員を配置して、今までの発掘調査報告書と1万点以上の遺物照合の再整理作業や遺物の展示公開、子どもたちが出土品にふれる体験学習を計画。2年かけて再整理作業を進め、計画策定にも着手する。

質問 整備の課題とその対応は。

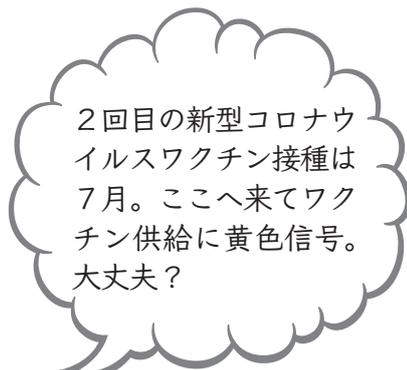
教育長 専門家や地域の意見を反映させ、佐野遺跡の

特徴を生かした計画策定を進める。学芸員など専門的

文化財の防災対策は

質問 町の文化財の防災対策は。

知識を有する人材確保が必要と考える。



2回目の新型コロナウイルスワクチン接種は7月。ここへ来てワクチン供給に黄色信号。大丈夫？

山本岩雄のつぶやき



ソーラーシェアリング例
(農林水産省ホームページより)

教育長 防災対策は所有者により行われている。県と町の共同パトロールなどをおとして、文化財への関心や保護意識の普及啓発につとめたい。

※ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)への対応は

質問 町での動きは。

農林課長 当町での設置実績はない。須坂市のブルーベリー農地、ぶどう園地の例がある。

質問 町の基本的な考え方は。

農林課長 農地法による一時転用許可が必要。相談には適切に対応したい。

耕作放棄地対策は

町長—原材料支給などによる維持管理を推進



こばやし かつひこ
小林 克彦

町長 国・県による交付金事業や地域発元気づくり事業、町の原材料支給などで

受益者による農道・水路の維持管理を推進している。

質問 町単独の原材料支給額は約200万円であるが、要望に答えられているか。

農林課長 近年要望が非常に多く、足りない状況。

質問 自家用作物の耕作者は耕作自体よりも年々少人数での管理となる小水路や道の管理にねをあげ耕作をやめることから、ますます荒れる状況にある。

農林課長 耕作放棄地対策としては「元気づけ！活かせ遊休農地復活事業」の活用が有効と考えている。

質問 コロナワクチン接種は当初説明を受けた接種順位2、65歳以上について2回目接種も予定しており7月



少人数で管理が追いつかない堰

町長 末の完了見込みでよいか。

医師会、県の協力を得て目処が立っている。

質問 順位4、特に12歳までの年齢引き下げによる接種完了見込みはいつに。

健康福祉課長 11月末を指している。

危機管理課の設置の趣旨は何か

副町長 災害に強い町づく

りのため日頃から着実に地域防災力の向上をはかるため。

総務課長 第6次総合計画の達成に向け官民の連携、地域防災力向上などにより組織機構を見直し新設した。

危機管理課長 地域防災計画内の事務分掌の改定が必要となり手続中の内容は①平常時に関すること、②非常時・災害発生時に関する事は災害対策本部既定の分掌に従い、対策本部と共に従事することになる。

質問 コロナ禍による経済的な損失状況は。

観光商工課長 令和2年の利用者人数は300万2000人で前年を131万7000人減の70%、金額で約66億6000万円の損失。
質問 観光においては、対前年比で入り込み数も売り

上げ額も3〜4割減ということであるが、経済の回復をどのように見込むか。

町長 コロナ感染症の収束を機として大きく進むと考えている。

質問 国全体のワクチン接種が計画どおりに進めば、秋から冬にかけて回復に向かうと予測している機関や団体が多いい中、町の受け入れ態勢は整っているか。

町長 観光のニーズによるインフラ整備を官が行い、事業者にはそれぞれを利用していただく連携が必要と考える。

質問 バブル期に起きた北都簡水の給水制限類似のこと、再び起きないように周到に準備する必要がある。
建設水道課長 早急な対応を考えている。

コロナは勿論大変だが、少子化は、一人ひとりの生き方に関すること。どうする？

小林克彦のつぶやき

みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情者	結果
陳情第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	中高地区労働組合連合会 議長 樋口 尚宏 長野県労働組合連合会 議長 細尾 俊彦	継続審査

議会全員協議会

第5回全員協議会（4月9日）

- (1)議会側からの提出案件
①議会アンケート個別意見回答について

第6回全員協議会（5月14日）

- (1)議会側からの提出案件
①第18代後期議会構成について
・正副議長立候補
5月25日立候補届提出
5月25日全員協議会

第7回全員協議会（5月25日）

- (1)執行機関側からの提出案件
①令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
②令和3年度（仮）すがかわふれあいセンター増築・改修工事請負契約の締結について
(2)議会側からの提出案件
①第18代後期議会構成について
・議長立候補所信表明
・副議長立候補所信表明
・所属を希望する常任委員会の聞き取り
・監査委員候補者の選考

第8回全員協議会（6月10日）

- (1)執行機関側からの提出案件
①第6期山ノ内町障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画について
(2)議会側からの提出案件
①管内視察について
②先例集について

第9回全員協議会（6月24日）

- (1)執行機関側からの提出案件
①山ノ内町公式LINEの開設について

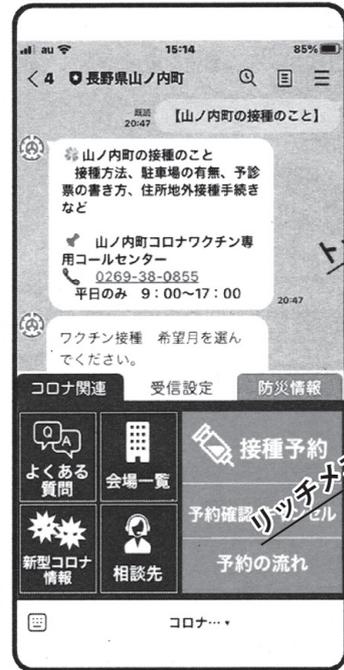
町公式 LINE 開設について

※通常の LINE から山ノ内町 LINE に入れます。

【仕様】

LINE	
入力操作	各課の担当者PC
情報量	無制限
情報内容	画像、動画、外部リンク
配信対象	(セグメント配信可)
開封率	90%
その他	・スマートフォン等 ・格安スマホ (FOMA) の利用増加 メールアドレスを変更した場合でも、再登録不要 ・タイムラグなし

【初期画面】



【QRコード】



リッチメニュー画面

【今後拡張予定のメニュー案】



訂正

2020年の10月発行の議会だより（第122号）に掲載された白鳥議員の「視覚障がい者への町広報への周知は」との一般質問に対する答弁について、『・・・朗読ボランティア「うぐいすの会」をお願いして、すべて朗読をして』とありましたが、録音テープの容量の関係から、すべてではなく会の録音担当者が選んだ記事を録音して配付しています。

古の桜に思いを馳せる(その2)

湯田中温泉名勝 地蔵の桜 (不老桜)

古桜に自身を

るを

重ねた小林一茶

浅ましのお木桜や 翠(あす)が日に

(前回からの続き)

一茶の作品に有名な俳諧歌があります。

倒るゝまでも 花の咲く哉

倒るゝまでも 花の咲く哉

明日枯れ倒れようとまだ花を咲かすのか(桜の木に老いた一茶自身の姿を重ねている)。

桜への並々ならない思いが伝わってきます。

老木(おいき)桜

或る山寺に うつろ木の一(ひと) なん有ける
今にも枯るゝばかりなるが
さすが春のしるしにや

【通釈】或る山寺に、中が空洞になった老木が一本あった。今にも枯れそうだが、さすがに春の兆候なのか、生きている証しとして少しのつぼみをつけている。

三ツ四ツふたつ つぼみけ

みすばらしい老木桜よ、



信州湯田中温泉之略図
右上に湯宮神社
左下に不老桜の表記
(明治13年・よろづや所蔵)

一茶の自画像が添えられたこの作品の直筆原本は、今も町内に存在します。
一茶の桜の俳句は350句超と言われています。

- ・古桜 花の役として 咲にけり
- ・からくくと下駄をならして 桜かな
- ・湯も浴びて 仏おがんで桜かな
- ・さくらくくと唄われし老木かな
- ・老いたりな 大評判のさくら花
- ・未練なく 散るも桜はさくらかな

この句の中に、地蔵の桜を詠んだものが一句でもあつてくれると嬉しいんです。



仲よし食堂横の桜地蔵

今も温泉街に残る桜地蔵

地蔵の桜のことを知っている人はいるか、温泉街にその痕跡は残っていないか、探し回りました。ご年配の観光関係者の方々にも当たりました。「名前だけは聞いたことがある」という方がお一人だけいらつしやいました。詳しく知る人には出会えませんでした。

今、このお地蔵さんを大切に手入れし、守っておられる仲よし食堂さんですが、その調わりについてはご存じないとのことでした。たまにお参りに来るといって近所のご婦人にもお話を伺いましたが、同じ答えが返ってきました。

100年という時の流れは無情です。

古き日を 忘るゝなとや 桜咲く(一茶)

それでも、鳥瞰図を手掛かりに、一つ見つけたものがあります。仲よし食堂さんの横、星川へ下つていく階段通路入口右の祠です。2体のお地蔵さんが鎮座し、花が供えられた供物石の正面には「桜地蔵」の刻字。まさに、絵葉書にも写つて

「去る者は日々に疎し」と言いますが、忘れてはならないこともあります。(おわり)

編集後記

今号から新広報常任委員会(18ページ参照)が編集を担当します。

まず、今号が諸事情から1か月遅れの発行となつてしまつたことお詫び申し上げます。編集にあたっては、議会の内容や決定の経過を分かりやすくお伝えし、親しみを持っていただけるように心がけてまいります。よろしくお願いたします。(渡辺正男 記)

